

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	487 筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業）					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	128	130		係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画	筑波山梅林及び周辺整備計画 等				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山の観光資源を最大限に有効活用し、年間を通じて誘客を行うことで、リピーター客の確保と周辺観光産業の活性化を図る。
概要 (取組内容)	筑波山周辺地域の周遊促進及び訪日外国人の満足度向上を図るため、一部に観光庁補助金を活用し、関連施設の整備を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	62,549	247,564	26,309	286,900	
	決算額	(千円)	13,389	13,516	219,901	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13,389	10,916	52,766	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	2,600	167,135	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,399	7,306	7,335	7,335	7,335	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	206.00	206.00	206.00	206.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報誌での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	250.0	228.0	186.8	0.0	0.0	0.0
指標の概要	期間は1月から12月まで						

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	1,017.0	622.0	847.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	筑波山観光案内所改築工事は工期に余裕がないが、さらに補助金の交付が遅れたことから年度内に完成させるため臨時議会を開催し、契約の議会承認を得るなどし、スケジュールを調整した。				
成果	老朽化した筑波山観光案内所の改築工事及び観光情報を表示するデジタルサイネージのシステム構築を行った。また、市営筑波山第3駐車場公衆トイレの洋式化工事を行い、インバウンド対応の改善が図られた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>新型コロナウイルスの感染が収束していない中、行楽シーズンは登山道等に人が集中するため、観光客が密集しない施策を迅速に実行する必要がある。また、門前周辺の渋滞解消について継続的に対策する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	新型コロナウイルスの感染が収束していない中、行楽シーズンは登山道等に人が集中するため、観光客が密集しない施策を迅速に実行する必要がある。また、門前周辺の渋滞解消について継続的に対策する必要がある。	組織、予算等	
業務	新型コロナウイルスの感染が収束していない中、行楽シーズンは登山道等に人が集中するため、観光客が密集しない施策を迅速に実行する必要がある。また、門前周辺の渋滞解消について継続的に対策する必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	筑波山において行楽シーズンに観光客が集中しやすい場所にライブカメラを設置し、観光客が事前に混雑状況を把握できるようにする。また、老朽化し視認性が低下した駐車場満空表示板を改修し、渋滞の解消につなげる。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	488 筑波山麓整備事業					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	筑波山周辺観光整備基本構想、第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客					
目的	山麓地域の活性化を図るとともに、行楽シーズンに集中する筑波山観光への分散を図る。					
概要 (取組内容)	観光誘導及び地域活性に寄与するため、自然景観に配慮した利便施設を整備する。 観光案内看板の設置					

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	148	5,775	6,666	0	
	決算額	(千円)	12,240	100	44	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,240	100	44	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,070	1,700	1,709	1,709	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.25	0.25	0.25	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報誌での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	0.0	0.0	0.0
指標の概要	期間は1月から12月まで						

2	指標名	宝篋山観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.5	12.0	12.1	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	期間は1月から12月まで					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	宝篋山の登山客増加に伴い、行楽シーズン中の駐車場が不足するため、新たな駐車場用地取得について交渉を行った。
成果	駐車場用地について、用地交渉のため、不動産鑑定の時点修正を行い、市の具体的な購入希望額を確定させたが、契約には至らなかった。
課題	宝篋山の登山客の増加に伴い駐車場が不足しているため、新しい駐車場の確保が必要。
改善目標	駐車場用地購入の交渉を引き続き行うとともに、売買契約が成立するまでは臨時駐車場を確保し、観光客の利便性向上を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	宝篋山登山客が増加し、駐車場が不足していることから、臨時駐車場の開設や新しい駐車場の整備について市民から要望があるため。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	489 観光施設維持管理事業					
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市の魅力向上を図る。
概要 (取組内容)	快適で魅力ある観光地として、観光施設を適正に管理する。 筑波山頂施設維持管理、市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理、梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理、荃崎地区観光施設維持管理

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	101,718	96,717	108,089	0	
	決算額	(千円)	137,899	96,116	91,695	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	72,908	44,801	53,568	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	14,900	0	0	0
		その他	(千円)	64,991	36,415	38,127	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,620	11,252	7,875	7,875	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.50	1.00	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	428.00	428.00	428.00	428.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	0.0	0.0	0.0
指標の概要	期間は1月から12月まで						

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	938.0	622.0	847.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	老朽化した筑波山山頂公衆トイレや作業道（深峰歩道）及び登山コースの整備について、茨城県に対し改善の要望を行った。 市営駐車場の法面整備や駐車場白線の引き直し、安全性の確保を行った。	
成果	茨城県による筑波山山頂公衆トイレの改修及び深峰歩道の再整備が行われた。 各観光施設の修繕工事や故障に対し迅速に修繕を行うなど、観光客の利便性の向上が図られた。	
課題	業務	劣化が進む施設の修繕が必要（例：駐車場から各施設へのアクセス路の修繕・改良が必要）
	組織、予算等	土木工事については、担当課で工事を実施するため、専門的な知識及び経験のある職員が必要である。
改善目標	市営駐車場の改修（市営第3駐車場外灯をLED化、市営第2駐車場路面打ち換え及び白線工事）を行い利用者の安全性の確保を図る。 また、各施設の見回りの強化や注意喚起を行い、適正な維持管理によって利用者の満足度向上を図る。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	491 まつりつくば事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約					係名	観光イベント推進係
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第2次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民
目的	観光の振興と中心市街地の活性化を目的に、つくばならではの多様な文化をいかした魅力あるコンテンツを提供することで、まつりつくばに関わる誰もが楽しめる観光誘客イベントを開催する。
概要 (取組内容)	新型コロナウイルス感染症の影響により、代替イベントとしてARフォトコンテスト、スマホスタンプラリー、オンラインステージを開催する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	30,800	30,800	30,800	30,800	
	決算額	(千円)	30,000	1,868	10,102	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	30,000	1,868	10,102	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,993	12,307	10,823	15,077	15,077	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.80	1.50	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	579.75	27.00	235.00	580.00	580.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	イベントの参加団体を募集
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	来場者数 (人)						成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1 目標値	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	
実績	480,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の概要	主催者発表（令和2年度は中止、3年度はオンライン等での開催のため来場者数の発表はなし）						

2	指標名	スタンプラリー参加登録者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1,077.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(代替イベントの開催により令和3年度のみ指標を設定)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスの感染状況に応じたイベントのあり方が課題であったことから、新しい形でイベントを開催した。また、支出の増大が見込まれることから更なる財源の確保が課題となっていたが、代替イベントの実施により、予算を縮小して開催することができた。	
成果	ARフォトコンテストについて、ねぶた・神輿をいつでもどこでも楽しんでいただくことで、より広範囲にまつりつくばをPRすることができた。スマホスタンプラリーについて、市内の参加店舗を巡っていただくことで経済活動を促進するとともに、賞品を市内の物産品にすることで物産品のPRを行うことができた。オンラインステージについて、市民に日頃の活動や成果を発信する機会を提供することができた。	
課題	業務	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらも、会場での開催に向けて検討を行っていく。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により、2年間会場でイベントを開催していないことから、知識や経験の継承が課題となっている。また、感染症対策に伴う経費や、警備員の人件費高騰などにより支出の増大が見込まれることから、支出の見直しを図るとともに、新たな財源の確保についても検討していく必要がある。
改善目標	関係者と十分に協議し、市民をはじめ、近隣住民や来場者、参加者に理解を得られるイベントを開催する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	492 森林体験パーク施設管理事業					
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	市有地の保全を図りながら、新たな観光の活性化に繋げる。
概要 (取組内容)	筑波山の自然をテーマに森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光を提供する。 また、快適で安全な施設利用を提供するため、装具の更新やコース内の安全管理、樹木医による立木の調査により適正な維持管理を行う。 ※PR：ホームページやチラシの配布での情報発信、つくば市民の日キャンペーンや梅まつりでのイベント共催

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,667	5,422	5,283	7,000	
	決算額	(千円)	0	1,442	1,934	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	-5,728	-7,792	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	7,170	9,726	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,700	3,417	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.25	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページや広報誌、チラシ配布での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	施設利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0
	実績	0.0	10,337.0	13,999.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の推進) ※令和2年度より個票として独立したため令和元年度の実績が無記入となっている。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用客が減少したが、今年度については市民の日キャンペーンの対象期間を例年より長くする等の対応を実施した。また、老朽化が著しい施設の修繕を実施した。
成果	市民の日キャンペーンの対象期間を長くしたことにより、前年度と比較して利用者が約35%増加した。施設の修繕を実施したことにより、利用者の安全性をより確保できた。
課題	業務 新型コロナウイルスの影響で減少した利用者呼び戻すため、引き続き更なる魅力の向上を図る必要がある。 組織、予算等
改善目標	まつりつくば等のイベント時にPRを実施し、新規利用者の獲得を図る。また、利用者の安全性及び魅力向上のため引き続き老朽化した施設の修繕を実施する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	前年度と比較し利用者の増加が見られ、今後新型コロナウイルス感染症拡大が収束することで更なる利用者の増加が期待されるため。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	493 つくばフェスティバル事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光イベント推進係	
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第2次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民
目的	交流人口の拡大促進と地域経済の活性化を目的に、世界各国の文化とふれあうことができる飲食・体験ブースやステージなど、国際都市つくばの魅力を発信できるイベントを開催する。
概要 (取組内容)	新型コロナウイルス感染症の影響により、代替として子ども向けイベントと国際交流イベントを軸に、動画等のコンテンツをオフィシャルサイトにて公開するとともに、実店舗を巡るスタンプラリーを開催する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,500	4,500	4,500	4,500	
	決算額	(千円)	4,300	0	1,431	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,300	0	1,431	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,226	3,543	6,322	6,031	6,031	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.90	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	338.75	58.00	70.00	232.00	232.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	つくばフェスティバルへの来場者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	140,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0
	実績	150,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	主催者発表（令和2年度は中止、令和3年度は代替イベント開催のため実績なし）						

2	指標名	ホームページ閲覧数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	7,833.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	代替イベントの開催により令和3年度のみ指標として設定					
3	指標名	スタンプラリー応募者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	76.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	代替イベントの開催により令和3年度のみ指標として設定					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスの感染状況に応じたイベントのあり方が課題であったことから、新しい形でイベントを開催した。また、支出の増大が見込まれることから更なる財源の確保が課題となっていたが、代替イベントの実施により、予算を縮小して開催することができた。	
成果	オフィシャルサイトにて、子ども向けイベントと国際交流イベントを軸に動画等のコンテンツを公開することで、市内の魅力的なコンテンツや、子どもたちや市民の活動について広くPRすることができた。スタンプラリーについて、市内の参加店舗を巡っていただくことで経済活動を促進するとともに、賞品を市内の物産品にすることで物産品のPRを行うことができた。	
課題	業務	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらイベントの開催について検討する必要がある。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により、2年間会場でイベントを開催していないことから、知識や経験の継承が課題となっている。また、感染症対策に伴う経費や、警備員の人件費高騰などにより支出の増大が見込まれることから、支出の見直しを図るとともに、新たな財源の確保についても検討していく必要がある。
改善目標	関係者と十分に協議し、感染状況に応じたイベントを開催する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	494 くさざき夢まつり事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光イベント推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民
目的	地域活性化及び交流の促進を図る。
概要 (取組内容)	地域のふれあいの場として昭和49年から商工業祭、平成12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。地域活性化を促進するため、茎崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして実施している当該事業に対し補助金を交付するとともに、助言等を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	600	600	600	600	
	決算額	(千円)	600	17	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	600	17	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,534	685	699	1,508	1,508	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.10	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	57.50	2.00	6.00	58.00	58.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	くさざき夢まつりへの来場者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
	実績	8,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルスの影響で中止)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事務局体制の確立・強化に向けて支援を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で事業は実施しなかった。 ・中止判断や周知方法について助言した。 	
課題	業務	引き続き事務局体制の確立・強化に向けた支援が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	引き続き事務局体制の確立・強化に向けた支援を行っていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	495 つくば観光コンベンション協会補助事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	観光客
目的	行政を超えた領域の観光事業の充実を図る。
概要 (取組内容)	観光コンベンション協会に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	45,621	45,621	45,621	45,621	
	決算額	(千円)	41,275	45,621	45,621	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	41,275	45,621	45,621	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,360	1,367	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	0.0	0.0	0.0
	実績	425.0	272.0	243.3	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	コロナ禍、コロナ収束後を見据えた観光誘客事業として、筑波山での周遊観光を促進するスタンプラリーや捺し巡り御朱印など、オープンエアでの密にならない誘客事業を進めている。	
成果	財政の支援を行い、協会経営の安定化と観光誘客の推進を図ることができた。 コロナ禍での観光コンベンション協会の運営・予算執行等について助言・指導を実施した。 コロナ収束後を見据え、観光コンベンション協会と連携し、新たな筑波山観光キャンペーン事業を企画するなど、官民一丸となった誘客事業を推進することができた。	
課題	業務	コロナ収束後を見据え、引き続き観光需要回復のための事業展開が必要となる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	観光コンベンション協会と連携し、コロナ収束後を見据え、年間を通じた筑波山への観光誘客を促進する事業等の検討を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	496 観光振興事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	127-1			係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	観光客
目的	つくば市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。
概要 (取組内容)	市内の観光情報の発信（つくば市の魅力を紹介することにより、市外から多くの方に来訪いただき、ひいてはリピーターの増加を目指す。） 観光ガイドブックの作成及び効果的な配布、メディアへの情報発信等を積極的に実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	17,482	19,219	6,648	6,648	
	決算額	(千円)	16,916	12,334	11,959	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	16,916	12,334	11,959	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,427	8,718	8,565	4,222	5,467	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	1.10	1.00	0.60	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	504.00	712.00	50.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HP等での観光情報発信
企画・立案、計画	第3次つくば市観光基本計画策定への市民委員の参加
実行	—
評価、検証	第3次つくば市観光基本計画策定への市民委員の参加

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	0.0	0.0	0.0
	実績	425.0	272.0	243.3	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	訪日外国人観光客向け観光情報発信強化のため、多言語観光情報サイト「Guidoor」に加え、新たに多言語観光情報サイト「JFM」への観光地情報の掲載を行うことができた。	
成果	コロナ収束後を見据え、訪日外国人観光客向けの観光情報の発信強化を行うことができた。国内向けの観光情報発信として、SNS等を活用して観光情報の発信強化を行うことができた。第3次つくば市観光基本計画の策定に向けた取り組みを実施することができた。	
課題	業務	コロナ収束後を見据え、訪日外国人観光客向け観光情報発信に加え、国内向けの観光情報発信の強化を行う必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	訪日外国人観光客向け観光情報発信の更なる強化として、「Guidoor」「JFM」に加え、「MATCHA」への観光情報の掲載拡充を進める。また、国内向けの観光情報発信として、市公式HPやSNSでの情報発信の強化、情報発信ツールの制作を進める。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	497 つくば市学術会議支援事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市内における学術会議の開催促進を図る。
概要 (取組内容)	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施する。窓口業務及び広報活動はつくば観光コンベンション協会が行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	22,437	24,445	15,602	15,602	
	決算額	(千円)	26,747	770	2,163	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	23,747	770	2,163	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,000	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,035	1,360	684	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	学術会議等の開催、参加
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	国際会議開催数 (回)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	50.0	53.0	56.0	59.0	63.0	65.0
実績	63.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市内で開催された学術会議 (MICE) の回数※目標値は、H27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスの影響により、積極的なMICE誘致を実施することができなかったが、コロナ収束後に向けた誘客ツールとして、茨城県・観光コンベンション協会と連携し、PR動画を制作した。	
成果	新型コロナウイルスの影響により、当初予定されていたMICEの縮小、延期、中止が続いたが、令和3年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に対応した補助金メニューを追加し、コロナ禍のMICE開催に向けた積極的な取り組みを進めることができた。	
課題	業務	コロナ収束後に向けたMICE誘致の進め方について検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	コロナ収束後に向けたMICE誘致活動について、引き続き茨城県・観光コンベンション協会等と連携し、MICE開催動向を注視しながら進めていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	498 筑波山交通渋滞対策事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	春と秋の行楽シーズンを中心に多くの観光客が筑波山を訪れることによる渋滞等の緩和
概要 (取組内容)	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導を実施する。 登山道の混雑緩和対策として、女体山頂付近に誘導員を配置し、案内アナウンスを行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,274	3,092	3,194	3,194	
	決算額	(千円)	1,839	1,182	3,312	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,839	1,182	3,312	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,916	4,118	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	210.00	288.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HP等で渋滞情報の発信、迂回路看板の提示
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	渋滞対策実施日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
	実績	20.0	12.0	16.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年度秋の筑波山渋滞対策で実施した、登山道混雑状況調査を受け、令和3年度春の筑波山渋滞対策において、特に混雑が見られる女体山頂付近の混雑列整理及び下山の一方通行を実施した。
成果	女体山頂付近の混雑状況を改善することにより、登山道の混雑を解消することができた。市営駐車場への警備員配置による混雑緩和及び風返し峠付近の混雑を緩和することにより、渋滞状況の改善を図ることができた。
課題	業務 交通渋滞に関しては、道路管理者である茨城県と協力し、抜本的な検討、改善を図る必要がある。 組織、予算等 特になし
改善目標	交通渋滞に関して、茨城県と協力し新たな渋滞対策を検討するとともに、登山道混雑緩和について、人員配置の見直しを図り、より効率的に業務を遂行できるよう検討を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	499 おもてなし観光推進事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市への観光客の満足度の向上を図る。
概要 (取組内容)	観光ボランティアガイドの育成については、つくば観光コンベンション協会に委託して実施している。 観光ボランティアガイドは、つくば市内の観光ガイドを行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	10,346	8,636	8,490	8,490	
	決算額	(千円)	9,760	9,868	8,370	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,760	9,868	8,370	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,357	3,400	1,375	692	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.50	0.20	0.10	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	3.00	3.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ボランティアガイド研修
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	250.0	228.0	186.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウントした値（年集計）						

2	指標名	ボランティアガイド登録人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	50.0	52.0	43.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	観光ボランティアガイドについて、コロナ禍及びコロナ収束後を見据え、ZOOMを活用したリモートガイドを本格的に実施した。	
成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年水準でのボランティアガイドの実施はできなかったが、リモートガイドを実施することができた。しかし、ネイチャーガイドの実施はできなかった。	
課題	業務	コロナ禍及びコロナ収束後を見据え、ネイチャーガイドの活動方法について検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	コロナ禍及びコロナ収束後を見据え、ネイチャーガイドの活動方法について検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	500 周遊観光促進事業（旧：フットパス事業）					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約	90-1	93-3			係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	第2次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	地域の観光資源のブラッシュアップ及びGWや紅葉期等に筑波山へ集中する観光客の分散化を図るため、既存の筑波山麓地域や各地域のマップ、地域の団体が作成したマップ等を活用し、周遊観光を促進する。
概要 (取組内容)	市内に点在する観光資源を線としてつなげる。 フットパスコースの企画・設定、道標を設置するとともに案内マップを作成し、市内外に広く周知する。 マップの電子化を検討し、地域への周遊を促し、地域経済の活性化を図る。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	374	187	5,667	5,667	
	決算額	(千円)	212	184	1,804	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	212	184	1,304	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	500	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,213	5,728	6,980	6,834	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.32	0.80	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	15.00	107.00	60.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信、フットパスマップを作成し観光案内所等に設置マップを活用した周遊イベントの実施
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	フットパスマップ増刷部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	3,000.0	8,000.0	8,000.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	配布及び補充用にてフットパスマップを増刷した部数					

2	指標名	電子スタンプラリー参加者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0
	実績	0.0	0.0	967.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	電子スタンプラリーに参加した人数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	周遊観光の充実のため、地元住民等と連携し、地元団体が作成したまちあるきマップを活用した宝篋山麓での電子スタンプラリーを実証実験として実施した。	
成果	電子スタンプラリー参加者はのべ967名（推計値）であった。	
課題	業務	今回の実証実験の結果を踏まえ、小貝川周辺の周遊コース策定を検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	小貝川周辺での周遊コースの検討を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	505 サイエンスツアー事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約					係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第2次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	つくばサイエンスツアー推進事業に係る協定				SDGs	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、研究機関等と連携し市内外からの誘客を図る。
概要 (取組内容)	つくばサイエンスツアー実行委員会（事務局：茨城県）から（一財）茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託し、サイエンスツアーバスを巡回させ、回遊性の強化を図り学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	11,000	11,000	11,000	11,000	
	決算額	(千円)	11,000	8,229	6,894	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11,000	8,229	6,894	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,360	684	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.20	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HP等での情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	サイエンスツアー利用者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0
実績	11,976.0	2,150.0	4,155.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の振興) つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに参加した人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	コロナ収束後を見据え、工作実験教室等の出張特別イベントを市内周辺地域にも拡大し、誘客促進を図った。	
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、サイエンスツアーバスの運行や特別企画等を実施した。また、令和3年度は県内の小・中・高校へ直接誘致活動を実施するなど、県内向け教育旅行の誘致を強化した。	
課題	業務	コロナ収束後を見据え、新たなイベントの企画や、県外を含めた教育旅行の誘致を強化していく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	サイエンスツアーオフィス、研究機関と連携し、コロナ収束後を見据えた新たなイベント企画等の誘客手法の検討及び市教育局を通じた教育旅行の誘致強化を推進する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	506 観光客動態調査事業					
予算科目	01-070103-15 観光客動態調査に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び筑波山・宝篋山への入込数を調査し、県に報告する。 (委託) 筑波山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受け、県に報告する。 なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントの来場者数も報告を行っている。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	402	328	328	328	
	決算額	(千円)	402	271	292	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	286	271	172	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	116	0	120	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	680	684	1,367	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.10	0.20	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	筑波山・宝篋山の観光客入込数調査
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	観光客（筑波山・宝篋山観光客）入込数調査日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	11.0	12.0	10.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	筑波山の交通量調査と宝篋山でのい駐車台数及び通行人数調査日数						

2	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	0.0	0.0	0.0
	実績	425.0	272.0	243.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値 1月から12月までの年集計					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	宝篋山の調査について、筑波山と同様に交通量調査から入込客数を測定した。	
成果	つくば市内の代表的な研究施設（見学受入施設）等からの情報収集及び筑波山・宝篋山での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。※筑波山・宝篋山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。	
課題	業務	当課所管の施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、荃崎こもれび六斗の森）について、豊里ゆかりの森以外の施設が新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が一時的に1万人以下となっているが、今後の流行状況に応じて調査地点の追加を検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	当課所管の施設（豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、荃崎こもれび六斗の森）について、今後の流行状況に応じて調査地点の追加を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	038 観光PRの実施						担当部課	経済部観光推進課
予算科目	01- - 一般会計						担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係
市長公約								
戦略プラン	I-2	2	3	観光PRの実施			新規・継続	新規
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	一部委託
個別計画	第2次つくば市観光基本計画						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市への観光誘客を図り、観光需要の拡大に寄与する。
概要 (取組内容)	つくばフェスティバル、まつりつくば、茨城県人会、賀詞交換会、筑波山梅まつり等のイベントに観光大使を派遣し、つくば市の観光PRを実施する。 新聞等のメディアにつくば市の観光情報を提供する。 守谷、菖蒲、酒々井等の高速道路のSAにつくば市の観光PRのチラシを設置する。 SNS (Twitter、Instagram) での情報発信を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,033	1,150	2,490	2,490	
	決算額	(千円)	0	189	440	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	189	440	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,360	6,842	6,834	6,834	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.20	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市民に向けた観光情報の発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	観光大使派遣イベント回数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	12.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	観光大使を派遣しつくば市の観光PRを実施したイベント日数 (令和2年度は新型コロナウイルスの影響で派遣なし)					

2	指標名	インバウンド向けウェブサイトアクセス数 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0
	実績	6,314.0	3,596.0	3,954.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	Web上の訪日外国人向け観光メディアMATCHAへのページアクセス数（令和2年度まで観光振興事業の指標としていたものを観光PRの実施事業に移管）					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	SNS等のデジタルメディアを活用した観光PR活動を積極的に行った。	
成果	Twitterでの積極的な情報発信を行い、フォロワー数が約1,350人増加した。 また、今年度より新たにInstagramを導入し、約540人のフォロワーを獲得した。 また、Instagram広告やYouTube広告を新たに導入した。	
課題	業務	前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントに観光大使を派遣して実施する観光PR活動が少なかったことから、コロナ禍及びコロナ収束後を見据えた観光PR活動が課題となる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	コロナ禍及びコロナ収束後を見据え、観光大使を起用したPR動画の作成等、デジタルメディアを活用した観光PR活動を積極的に展開する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	040 筑波山観光用水湯水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	131			係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山頂の水量不足を解消し、観光用水の安定供給を図る。
概要 (取組内容)	筑波山観光用水である筑波山頂水道の水源の湧水量をモニタリングし、湯水状況を継続的に調査する。また、漏水が多発している老朽化した管路を更新する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	23,096	151,089	423	423	
	決算額	(千円)	0	18,054	130,815	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	2,909	19,299	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	15,145	111,516	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	7,090	6,834	1,709	1,709	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.00	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	118.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	関係者への湧水量調査結果の情報提供
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	施工監理業務委託を締結し、適切な工程管理を実施した。	
成果	筑波山観光用水管路改良工事を実施し、女体山頂からつつじヶ丘間の漏水を解消させた。 観光用水管路改良工事：配水管約1.6km布設、減圧槽4基設置	
課題	業務	筑波山山頂付近の自然湧水を利用しているため、時期により湧水が発生することから経過観察を行う必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	山頂湧水の状況把握として、引き続き湧水量のモニタリングを実施し、湧水時の対応を検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	湧水量が減少傾向にあるため、モニタリングを続ける必要がある。	